

「防災」セミナーへのご質問へのお答え

この度は弊社WEBセミナー「防災ーリアリティ防災」にご参加いただき、心より御礼申し上げます。

また、アンケートにご回答いただき、セミナー実施の疲れも吹き飛びました。多くのご質問をいただき、誠にありがとうございます。心を込めてご回答申し上げます。

★TY様からのご質問

防災食の見直しを考えてます。

インスタント食品や小麦が体に良くないとのことでなかなか買う気になれず、他に良さそうなものを確保したいと思うのですが何かオススメのものがあれば教えていただきたいです。非常事態では体にいいとか悪いとか言ってもらえないような気もしますが。

★回答

ローリングストック法を徹底的にやって“防災食”という概念を無くすことが重要です。強いてあげれば玄米と安全サバ缶、イワシのオイルサーディン（基本安い大メーカー製はダメ、缶の内側のビニールコーティングには注意）、タンパク質パスタ、蕎麦、100%純はちみつ、総合ビタミン剤、食物繊維のサプリメントくらいでしょうかね。

非常食だから安いモノ（まずくて危険）という感覚では実際の被災時に役には立ちません。

★KD様からのご質問

防災の話を同僚や知人などに、ドン引きされずに話すコツがありましたら教えてください。

★回答

日本人のほとんどは確証バイアスに侵されています。聞きたい話（自分に短期的利益が出る話）しか聞く耳を持たない状態の脳弱・思考停止状態にあります。話をする相手を良く観察して、心にゆとりがあり、聞く耳を持てるような人間に対して、まずは聞く耳をつくることから始める必要があると思いますよ。

「防災の知識を教えてください」と言わせることがとても重要です。そして自分の頭でレイヤー的思考方法や第一原理思考で考えられるように指導することも重要です。

★MS様からのご質問

資料の中で、AIによる日本の未来は8割以上で不幸な未来になると予想されていました。個人的にも、日本人全体で塗炭の苦しみを味わわないと努力せず再浮上する事は無いと考えます。落ちるところまで落ちる以外に日本経済が再浮上する方法は考えられるでしょうか。

★回答

日本人の全員が持つ「負のDNA」存在に気付き、それが暴発する前に気付き自戒しコントロールすることは不可能です。日本の近代史を徹底的に深掘り研究をすると、その現実には打ちひしがれます。時代の要請で「窮地を救う」人が生まれるとありますが・・・今回の大衰退の延長線上に、そのような人が生まれる可能性は・・・無い！と私は心配しています。

日本人は約80年ごとに「負のDNA」が暴発してきた歴史を持つ民族です。83年前の「負のDNA」暴発でも、事前に気付くチャンスは何度もあったのですが、軍部村の確証バイアスがそれを邪魔しました。最後の最後には原爆が2発（投下許可が出された原爆8発の内の2発）落とされ・・・。

その時！ やっと「時の人」が現れました。それが当時の「鈴木貫太郎」首相です。彼がいなければ、日本は米国の事前のシミュレーション通り、本物の原爆が数十個以上（投下シミュレーション実行済み数は49発）落とされ、日本人は絶滅していた可能性が非常に高いです。ぜひ以下の参考図書または映画をご覧ください。

参考図書：『日本のいちばん長い日(決定版) 運命の八月十五日』半藤一利(著)

参考映画：『日本のいちばん長い日』(2015松竹)（少し日本人に有利に脚色されている可能性あり）

今の日本も、まもなく自動車1本足打法のその「1本足」が骨粗鬆症になり、複雑骨折をする近未来も確実ですから・・・デジタル赤字（先進7カ国で日本だけ5.5兆円の赤字）、AI赤字も今後爆増するでしょう。

一番の大問題は・・・日本人に極少の真の賢者が・・・84年前の白洲次郎氏のように、どうしようもなく腐り切ってしまった日本！日本人！をあきらめているということです。

★MY様からのご質問

アンケートの質問に対する牧平さんの回答を教えてください。

- ①大工等の職人がいない＝災害時には政府は何を優先させ復旧させていくのでしょうか。
- ②また私たちのような下級国民はどのように扱われるのでしょうか。
- ③そして上級国民はその時どういう行動をしているのでしょうか。

★回答

公務員は現行の法律に基づくマニュアルを実行することが100%の仕事であり、確実に思考停止しています。思考停止した人間には、人の痛みを感じる能力などありません。そう洗脳されているのですよ！

①公共施設が最優先で復興されます。民間施設でも、医療やエッセンシャルワーカーの施設、そしてそこで働く人々が優先されます。一般の民間施設の復旧は最後の最後となります。

②放置されます。

⇒参考図書：「プロテメウスの罠」1～9巻に、詳しく真実が書かれています。

③真の上級国民は、自分が所有する安全地域の別荘や、癒着した大企業の保養所（ゲストルーム）など、被災していない地域の高級ホテル等で美食を楽しみ、マッサージを受け、ドンペリやロマネコンティを飲みながら優雅に過ごすことでしょう。ほとんどの大企業が、ひと握り（数人程度）の役員しか知らない、超豪華な高級官僚向けの接待施設を、日本各地に秘密裡に複数保有しています。

官僚などは職場で指揮を執ることになると思いますが・・・聞くだけ、報告を受けるだけの仕事しかしないでしょう。実際に汗をかくのは、どのケースでも被災した下級国民や下級役人です。

★KA様からのご質問

安全なセカンドハウスは、どこの地域を考えてますか？

★回答

震度階数が5程度以下（ほとんど被害が出ない地域）の地盤の強固な、近くに温泉施設のある自宅から1時間以内のポツンと一軒家を必死で探していますよ。

★KA様からのご質問

少子化解消で、移民受け入れをしてる政府。移民と日本人うまく共生できるか心配です。どうなりますか？

★回答

すでに日本は衰退国の仲間入りをしました。これまでも今後も、移民をする方々は「稼ぎたい」、または「より豊かな暮らしをしたい」「迫害されている」などの動機で移民をするはず。現在、日本に定住する外国人は、国籍・地域別で、中国（82万人）、ベトナム（52万人）、韓国・朝鮮人の合計在留者数（43万6,570人）が3位です。

真に有能なアジア地域の移民は、日本よりももっと豊かで稼げる国に行きます。それらの豊かな国に拒絶された「移民の落ちこぼれ」しか日本には来ない可能性がとても高いです。

しかし、中国の落ちこぼれ富裕層だけは日本への移住が大量に発生しています（現在推定10万人⇒今後増加）。理由は以下の5つです。①中国と距離的に近い（行き来がしやすい） ②物価が激安 ③社会保障が充実している ④ビザが取りやすい（特に経営管理ビザや高度人材ビザは簡単） ⑤自由がある（国家からの迫害を受けない）。

現在、日本で暮らす中国人は82万人おり、そのうち約1割強の10万人程度が超富裕層です。中国国内には現在約1,300万人の富裕層が存在しています（日本人の富裕層は約200万人程度で、中国人の約15%です）。その中の何割かは今後、日本に移住し、起業して日本に住む一般の中国人や日本人を雇用してビジネスを展開し、中国人だけのチャイナタウンを作り出す可能性も高いと思われます。

日本に移住する中国の落ちこぼれ富裕層は、東京などの大都市で2～5億円のタワーマンションを買いあさっているようです。アメリカのように米中対立がない日本が、移住先として優先的に選ばれているようです。

このまま衰退していく日本では、中国人やアジアなどの富裕層にこき使われる日本人が大量に出ることが心配されますね！

★以上、ご質問にお答えさせていただきました。

この度は弊社Webセミナー「防災－リアリティ防災」にご参加いただきまして心より御礼申し上げます。

来る10月12日(土)10:00～のWebセミナー「地球沸騰化」にもぜひご参加いただけますよう、心よりご招待申し上げます。

牧平